



学校だより

日野南小学校ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/hinominami/>

令和5年5月30日

6月号

横浜市立日野南小学校

「人とのふれあい」で学ぶこと

副校長 白岩 敬之

新型コロナウイルス感染症が収束に向かいほっとしたのも束の間、まだ5月だというのに気温が異常に高い日が続き、もう熱中症に気を付けなければいけない時期を迎えました。

学校では全校朝会や音楽朝会、なかよしタイムでの異学年交流、外部講師を招いた出前授業など、コロナ禍で縮小していた教育活動が次々と再開しています。4年ぶりの活動もあり、最初は子どもたちにもぎこちなさがありましたが、徐々に慣れてきて笑顔も見られるようになってきました。



体育館での音楽朝会

さて、最近ニュースで「ChatGPT（チャットジーピーティー）」という言葉をよく耳にします。これは、米国の企業が開発した、人工知能（AI）を使ったチャットサービスです。人間の質問に対して、まるで人間のように自然でクオリティの高い回答をするだけでなく、メールを作成したり、詩や小説を書いたり、作曲もできるそうです。ここまで聞くと、学校で教えることや教師の仕事がいずれ奪われてしまうのではないかと感じてしまいます。

しかし、学校では先に挙げた音楽朝会やたてわり活動などで、クオリティの高い回答とは違う、「人とふれあう」という経験をします。そこで得られる一体感や感動、また相手を思いやりたり尊敬したりすることは、時間は少しかかるかもしれませんが「豊かな心」を育むことにつながります。これからの学校教育はICTを積極的に活用しながらも、この「人とふれあう」ことでしか学べないことを大切にしていきたいと思っています。

今後子どもたちは、生活科や総合学習で地域の方々とかかわる機会を増やしていきます。活動の場をひろげ、地域の方々とはふれあうことで多くのことを学ぶ子どもたちを今後も温かく見守っていただけると幸いです。